

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年7月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 木下 鉄平 (TEL) 03 (6214) 1700
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	1,706	△16.5	220	△22.8	206	△27.8	89	△50.9
21年12月期第2四半期	2,043	-	285	-	285	-	182	-

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	307	12	-	-
21年12月期第2四半期	625	38	-	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年12月期第2四半期	2,207		1,084		41.3	3,120	02	
21年12月期	2,196		1,012		37.6	2,824	02	

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 912百万円 21年12月期 826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	-		-		-		0	00	0	00
22年12月期	-		-		-		-		-	
22年12月期(予想)	-		-		-		0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,500	△8.3	280	△34.7	270	△35.3	140	△55.0	478	55

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社（社名）ー 、除外 ー 社（社名）ー

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：無

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2 Q	309,550株	21年12月期	309,550株
22年12月期 2 Q	17,000株	21年12月期	17,000株
22年12月期 2 Q	292,550株	21年12月期 2 Q	292,550株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとする外需の回復により輸出産業の業績が好転するなど、ゆるやかに上昇しておりますが、引き続き高い水準の失業率など景気の先行きは不透明なままであります。

このような経済状況の下、「営業課題解決事業」を推進する当社グループは、「営業力強化」「業績改善」「コスト削減」「人材強化」などへの投資意欲を見せる顧客のニーズに応えるべく努めてまいりました。主力製品であるSFA/CRMパッケージソフト「eセールスマネージャー」については、顧客のニーズやマーケットの変化に合わせてグレードアップした「eセールスマネージャー Rem i x C l o u d」の販売を6月より開始しました。当第2四半期連結累計期間における収益貢献には至っておりませんが、2011年度までに60社への導入を目指しております。合わせて、マーケティング、アウトソーシングを支援するBPO事業の強化にも継続して努めてまいりました。

その結果、IT力および営業組織力を高める「eセールスマネージャー」のクラウドサービスやライセンス販売とそれにとまなう開発販売は前年同期には及ばないものの当初の見込みどおり推移し、また店頭マーケティングなどのマーケティング力強化事業や営業マン育成コンサルティングなどの人材強化事業が堅調に推移したことから、第2四半期連結累計期間における売上高は当初の予想を上回り1,706百万円（前年同期比16.5%減）となりました。損益面に関しては、本社事務所移転による家賃削減効果を含め、販売管理費も予想以上に改善されたことから、当初予想を上回る営業利益220百万円（前年同期比22.8%減）、経常利益206百万円（前年同期比27.8%減）となりました。四半期純利益は法人税等調整額の影響もあり89百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11百万円増加し、2,207百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加373百万円、受取手形及び売掛金の減少97百万円、繰延税金資産の減少68百万円、差入保証金の減少138百万円などです。負債は前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、1,122百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少21百万円、未払金の減少56百万円、前受金の増加79百万円などです。純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、1,084百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加89百万円、少数株主持分の減少14百万円などです。自己資本比率は、41.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ373百万円増加し、1,318百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減とその要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は304百万円（前年同期は372百万円の収入）でした。これは主に税金等調整前四半期純利益206百万円、減価償却費66百万円、売上債権の減少97百万円などの増加要因と仕入債務の減少21百万円、法人税等の支払額46百万円、移転費用の支払額35百万円などの減少要因によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は69百万円（前年同期は111百万円の支出）でした。これは差入保証金の回収による収入138百万円、無形固定資産の取得による支出20百万円、子会社株式の取得による支出43百万円などの結果によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増減はありません（前年同期は190百万円の支出）でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、平成22年7月28日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しましたとおり、収益率の高い製品・サービスを中心に売上高が増加したことから、売上原価を想定よりも低く抑える結果となっており、また販売管理費も予想以上に改善されたことから、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初の予想より上回りました。

通期の業績予想につきましては、第3四半期以降の経済環境の見通しが依然不透明なことから、平成22年2月5日発表の連結業績予想は変更しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

2. その他の情報

- (1) 重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要
該当事項はありません。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要
該当事項はありません。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,318,213	945,048
受取手形及び売掛金	333,065	430,901
商品及び製品	40,170	39,281
仕掛品	37,984	56,445
原材料及び貯蔵品	546	924
繰延税金資産	75,664	144,632
その他	41,812	40,556
貸倒引当金	△2,923	△4,625
流動資産合計	1,844,533	1,653,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,145	45,145
減価償却累計額	△11,220	△4,933
建物及び構築物(純額)	33,925	40,211
その他	259,360	270,397
減価償却累計額	△215,964	△221,741
その他(純額)	43,395	48,655
有形固定資産合計	77,321	88,867
無形固定資産		
ソフトウェア	155,461	185,170
のれん	15,384	4,488
その他	915	915
無形固定資産合計	171,760	190,574
投資その他の資産		
投資有価証券	50,934	61,604
差入保証金	53,972	192,050
破産更生債権等	15,150	207,475
繰延税金資産	970	907
その他	8,225	9,280
貸倒引当金	△15,150	△207,475
投資その他の資産合計	114,103	263,841
固定資産合計	363,185	543,284
資産合計	2,207,718	2,196,447

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	122,471	143,678
短期借入金	557,824	558,088
未払金	58,850	115,682
未払法人税等	40,252	46,669
未払役員賞与	—	16,499
前受金	229,228	149,686
賞与引当金	19,348	34,544
返品調整引当金	—	5,475
その他	90,691	104,812
流動負債合計	1,118,667	1,175,136
固定負債		
繰延税金負債	4,322	8,644
固定負債合計	4,322	8,644
負債合計	1,122,989	1,183,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	616,734	616,734
利益剰余金	△262,335	△352,184
自己株式	△263,285	△263,285
株主資本合計	917,177	827,328
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△4,414	△1,161
評価・換算差額等合計	△4,414	△1,161
少数株主持分	171,966	186,498
純資産合計	1,084,728	1,012,666
負債純資産合計	2,207,718	2,196,447

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	2,043,491	1,706,432
売上原価	943,919	822,715
売上総利益	1,099,571	883,716
割賦販売未実現利益繰入額	—	1,900
割賦販売未実現利益戻入額	—	4,800
差引売上総利益	1,099,571	886,617
販売費及び一般管理費	814,158	666,222
営業利益	285,413	220,395
営業外収益		
受取利息	896	249
持分法による投資利益	6,788	—
為替差益	—	56
補助金収入	—	782
違約金収入	4,126	114
その他	4,344	1,120
営業外収益合計	16,155	2,321
営業外費用		
支払利息	12,351	5,686
持分法による投資損失	—	10,755
為替差損	2,153	—
その他	1,213	0
営業外費用合計	15,718	16,441
経常利益	285,850	206,275
特別利益		
投資有価証券売却益	18,291	—
持分変動利益	—	85
在庫調整勘定戻入益	36,254	—
特別利益合計	54,545	85
特別損失		
前期損益修正損	15,829	—
固定資産除却損	—	313
関係会社出資金売却損	91,171	—
貸倒引当金繰入額	6,695	—
たな卸資産廃棄損	11,163	—
特別損失合計	124,860	313
税金等調整前四半期純利益	215,536	206,048
法人税、住民税及び事業税	3,761	36,176
法人税等調整額	△7,919	64,581
法人税等合計	△4,158	100,757
少数株主利益	36,739	15,442
四半期純利益	182,954	89,848

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	944,585	737,180
売上原価	447,964	368,965
売上総利益	496,620	368,214
割賦販売未実現利益戻入額	—	3,722
差引売上総利益	496,620	371,937
販売費及び一般管理費	378,716	330,314
営業利益	117,904	41,622
営業外収益		
受取利息	5	17
持分法による投資利益	6,750	—
為替差益	642	—
補助金収入	—	100
違約金収入	346	—
その他	3,554	12
営業外収益合計	11,300	130
営業外費用		
支払利息	6,054	2,349
持分法による投資損失	—	5,749
為替差損	—	409
その他	0	0
営業外費用合計	6,054	8,508
経常利益	123,149	33,244
特別利益		
投資有価証券売却益	12,600	—
特別利益合計	12,600	—
特別損失		
前期損益修正損	2,283	—
固定資産除却損	—	46
関係会社出資金売却損	91,171	—
貸倒引当金繰入額	2,214	—
たな卸資産廃棄損	11,163	—
特別損失合計	106,832	46
税金等調整前四半期純利益	28,916	33,198
法人税、住民税及び事業税	2,016	10,745
法人税等調整額	7,937	11,960
法人税等合計	9,953	22,705
少数株主利益	28,153	6,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,189	3,492

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	215,536	206,048
減価償却費	93,820	66,421
のれん償却額	1,666	2,654
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,117	△194,027
長期前払費用償却額	923	849
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,776	△15,077
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	△5,475
受取利息及び受取配当金	△896	△249
支払利息	12,351	5,686
投資有価証券売却損益(△は益)	△18,291	—
持分変動損益(△は益)	—	△85
関係会社出資金売却損益(△は益)	91,171	—
持分法による投資損益(△は益)	△6,788	10,755
有形固定資産除却損	—	313
たな卸資産廃棄損	11,163	—
在庫調整勘定戻入益	△36,254	—
前期損益修正損益(△は益)	15,829	—
売上債権の増減額(△は増加)	△25,595	97,687
たな卸資産の増減額(△は増加)	△18,111	17,484
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,527	△21,185
その他	68,780	218,665
小計	399,119	390,465
利息及び配当金の受取額	896	249
利息の支払額	△14,290	△4,580
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△13,095	△46,572
移転費用の支払額	—	△35,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,629	304,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,034	△4,955
無形固定資産の取得による支出	△68,473	△20,021
投資有価証券の売却による収入	44,458	—
子会社株式の取得による支出	—	△43,092
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△85,527	—
差入保証金の差入による支出	△1,876	△485
差入保証金の回収による収入	843	138,522
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,609	69,968
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△190,000	—
配当金の支払額	△5	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,005	—
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,618	△979
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	81,632	373,165
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,786	945,048
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,117,419	1,318,213

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。